学校番号	１１１

令和２年度　地理歴史科

教科	地理歴史科	科目	地理Ａ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	高等学校　新地理Ａ（帝国書院）						
副教材等	標準高等地図・地図で読む現代社会（二宮書店）、新編地理資料 2020（とうほう）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・地図に親しみ、常に地図を開いて地名や地形名を調べよう
・世界の様々な国の地域的特性や文化を理解しよう
・統計資料読み取りや、地図・グラフなどの作成ができるようになろう

2　学習の到達目標

・地球環境や世界地誌の基礎を学ぶことによって、国際理解を深め、さまざまな国際問題を考えていく資質を養う。
・環境に対する適応の仕方は国や地域により様々であることを理解することによって、多文化共生の実現の仕方を学ぶ。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	地理的事象に対する関心と問題意識を高め、意欲的に学習に取り組むとともに、自ら世界や地域の課題について主体的に調査できる	世界の諸問題を地理的観点から考察し、文化の多様性を認め、地域の特色を多角的に理解しようとする	地理的な統計資料や地図・グラフなどの読み取り方や作り方を習得することができる	基礎的な地理的事象を歴史・自然・文化などと関連づけて理解することができる
評価方法	フィールドワーク 調べ学習のリポート 定期考査	調べ学習のリポート 定期考査	地理的技能（略地図の作成、統計資料のグラフ化など）の作業 定期考査	定期考査
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	地球儀や地図からとらえる現代世界	・地球上の位置と国家 ・グローバル化が進む世界	○	 ○	○ ○	○ ○	a:グローバル化が進む現在、世界の国々はさまざまに結びついていることに関心を持つ b:国々の結びつきが時代と共にどのように変化してきたかを多角的にとらえ、知ることができる。 c:変化する世界の動向を地図やグラフで把握することができる。 d:時差の計算や地球に関する基本的な数値の把握をすることができる。	地理的技能の習得 定期考査
	人間生活を取り巻く環境	・人々の生活と地形 ・人々の生活と気候 ・人々の生活と産業・文化			○ ○ ○	○ ○ ○	a:地形や気候など自然環境に人々がどのように適応しようとしてきたかについて関心を高めようとしている。 b:環境決定論に陥らないように、多角的に人間と自然の関係を捉えようとしている。 c:地形図の読図やハイサーグラフの作成などの地理的技能を習得することができる。 d:地理用語(地形名やケッペン記号など)について、その概念を正しく理解することができる。	フィールドワーク 地理的技能の習得 定期考査

2	世界の諸地域の生活・文化	・中国の生活・文化 ・韓国の生活・文化 ・東南アジアの生活・文化 ・南アジアの生活・文化 ・中央アジア・西アジア・北アフリカの生活・文化 ・サハラ以南のアフリカの生活・文化 ・ヨーロッパの生活・文化 ・ロシアの生活・文化 ・アングロアメリカの生活・文化 ・ラテンアメリカの生活・文化 ・オーストラリアの生活・文化	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○		○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:世界の諸地域に暮らす人々の具体的事例に関心を持つ。 b:環境に対する適応の仕方には様々な違いがあることを学ぼうとしている。 c:地域や文化を知る上で不可欠な資料を収集し、それを読み取り、地域性を理解しようとしている。 d:世界の諸地域の自然・生活・文化について、相互の関係を理解し、総合的な知識を深めている。	調べ学習のリポート 定期考査
3	地球的課題と私たち	・複雑にからみ合う地球的課題 ・世界の環境問題 ・世界の資源・エネルギー問題 ・世界の人口問題 ・世界の食糧問題 ・世界の都市・居住問題	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	 ○ ○ ○ 	 ○ ○ ○ 	a:ゴミ問題など身近なことかから発展し、グローバルな視点で環境問題などに関心をもつことができる。 b:先進国と発展途上国の利害の対立の論点を理解し、そのことについて自分なりの考え方を持つことができる。 c:資源・エネルギー、人口に関する統計資料から世界の今日的課題を読み取ることができる。 d:環境問題等について地域間の利害を乗り越える解決策を模索することができる。	定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。